



早島小だより

第12号
平成28年7月15日

めざす子どもの姿 進んで学ぶ子 やさしい子 元気な子



安全なくらしを

いよいよ子どもたちが楽しみにしていた長い夏休みが始まります。楽しく思い出いっぱいの夏休みにしましょう！そのために、交通事故や水の事故や事件（不審者）にあわないように安全な生活を心がけましょう。

早島町は、JR 児島線や国道2号線などの主要な交通網があり、交通事故の危険度は高いと言えます。また、多くの用水路があり、水の事故も心配なことです。さらに、不特定な人物が入りやすいところでもあり、不審者に対する備えも必要となってきます。ご家庭で夏休みのくらし方について話し合い、安全なくらしができるようにしましょう。



不審者からの被害を受けないために

【被害にあわないために・・・】

- *声をかけられても、聞こえないふりをして、その場を早く離れる。
- *捕まえられそうになったら、大声を出して逃げる。
- *「子どもかけこみ110番」のシールやコーンのある家やお店に逃げ込む。

【逃げた後は・・・家に帰ったら・・・】

- *できるだけ早く大人に知らせ、警察に連絡してもらう。
- *不審な人や車を見かけたらすぐに110番通報をします。



【怖い目にあわないようにするには・・・】

- *一人で遊びに行かない。
- *さみしい、人気（ひとけ）のない場所へは行かない。
- *帰宅時刻や行くところを、必ず家の人に伝えるかメモをおく。

「いか・の・お・す・し」を忘れずに！

夏こそ体験を

どこかに出かけることも子どもたちの楽しみの一つですが、ものを作る、興味のある課題について調べる、料理をする、動植物を育てる、外で思いっきり遊ぶ、家族の一員としてお手伝いをする、地域行事に参加するなど、日常の中でもいろいろな楽しい体験ができます。いろいろな体験の中に、保護者の方も一緒に体験することがあれば、さらに楽しくなります。共にできた達成感や成就感を味わうことは大切なことです。お子さんと一緒に体験し、親子の絆を一層深めてください。



人権講演会

7月12日（火）に、5・6年生対象の人権講演会（情報モラル学習）を行いました。講師は、青少年健全育成促進アドバイザーの桐野志摩実さんです。講演の主な内容は、「個人情報を守るために気をつけること」と「ネットやゲームをしすぎるとどうなるか」でした。お話を伺い、ネットやゲームは便利で楽しいものですが、使い方を間違えると、事件に巻き込まれたりいろいろな弊害になったりすることがよく分かりました。



講演の中で、「毎日1日2時間ネットやゲームしたとすると、1年間では約30日間やり続けたことになる」という話があり、児童はとても衝撃を受けたようです。暑い中、児童はとても真剣に講演を聞いていました。講演後に書いた児童の感想の一部を紹介します。



- 夜は成長ホルモンが働くから、早く寝るために、夜にはゲームをしないようにしたいです。
- ブルーライトは目に悪い影響があるので、長時間ブルーライトを見ないようにします。
- 自分の名前などをゲームで使わないようにします。インターネットを使うときは、詐欺アプリやその情報に気をつけたいです。
- これからは自分で考えて、リミットスクリーンを意識して過ごしたいです。

早島町重要文化財に指定



早島小学校の校門柱が、早島町重要文化財に指定されました。

レンガ造りの門柱は、今から約90年前の大正9年から昭和4年の間に設置されたと考えられているそうです。

この指定は、早島小学校創立140周年の記念すべき年の指定となりました。小学校の歴史を見守り続けてきた貴重な門柱です。これからも多くの子どもたちの思い出の門柱として、みんなで大切にしていきたいです。

早島の未来絵画コンクール…募集…



早島町町制施行120周年を記念して、子どもたちに20年後の早島町のお気に入りの場所がどんなになっているかを想像して絵にするコンクールがあります。この作品募集は夏休みの選択課題の中にあります。重要文化財に指定された校門柱は、20年後も今と変わらず子どもたちを見守ってくれていることでしょうか。田園地帯はどのような変化をしていくのでしょうか。夢のふくらむ20年後の早島町を絵にしてみましょう。

なお、子どもたちの描いた作品は、20年間役場に保存され、20年後に返却されるそうです。その頃には、立派な社会人となり、親となり、そしてまた、ふるさとの早島に集まって、子ども時代を語ることになるでしょう。今年限りの企画となりますので、20年後に自分たちの幼き日の作品を見て、仲間と楽しく語れるよう、なるべく多くの児童のみなさんの募集をお待ちしています。